

ダイワ・スイス 高配当株ツインα (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第71期(決算日 2020年1月17日)
第72期(決算日 2020年2月17日)
第73期(決算日 2020年3月17日)
第74期(決算日 2020年4月17日)
第75期(決算日 2020年5月18日)
第76期(決算日 2020年6月17日)

(作成対象期間 2019年12月18日～2020年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	約10年間（2013年12月18日～2023年12月15日）		
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 対 象	当 フ ア ン ド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券	
	ダ イ ワ ・ マ ネ ー ア セ ッ ト ・ マ ザ ー フ ア ン ド	円建ての債券	
組 入 制 限	当 フ ア ン ド の 投 資 信 託 証 券 組 入 上 限 比 率	無制限	
	マ ザ ー フ ア ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			スイス SMI 指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 入 率 組 比	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 率 中	(参考指数)	期 騰 落 率 中	(参考指数)	期 騰 落 率 中			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
47期末(2018年1月17日)	7,230	110	2.8	11,982	2.1	115.23	1.4	—	98.4	35,831
48期末(2018年2月19日)	6,789	110	△ 4.6	11,316	△ 5.6	114.60	△ 0.5	—	98.9	33,811
49期末(2018年3月19日)	6,513	110	△ 2.4	10,843	△ 4.2	111.10	△ 3.1	—	98.6	33,029
50期末(2018年4月17日)	6,403	110	0.0	10,694	△ 1.4	111.53	0.4	—	98.6	32,857
51期末(2018年5月17日)	6,417	110	1.9	10,868	1.6	110.22	△ 1.2	—	98.6	33,270
52期末(2018年6月18日)	6,274	75	△ 1.1	10,526	△ 3.1	110.85	0.6	—	98.9	32,695
53期末(2018年7月17日)	6,244	75	0.7	10,964	4.2	112.78	1.7	—	99.0	32,380
54期末(2018年8月17日)	6,205	75	0.6	10,989	0.2	111.15	△ 1.4	—	98.7	32,285
55期末(2018年9月18日)	6,326	75	3.2	11,400	3.7	116.10	4.5	—	98.8	32,637
56期末(2018年10月17日)	5,900	75	△ 5.5	10,966	△ 3.8	113.48	△ 2.3	—	99.7	29,862
57期末(2018年11月19日)	5,818	75	△ 0.1	11,035	0.6	112.75	△ 0.6	—	98.8	29,325
58期末(2018年12月17日)	5,731	75	△ 0.2	10,887	△ 1.3	113.71	0.9	—	98.7	28,716
59期末(2019年1月17日)	5,541	75	△ 2.0	10,727	△ 1.5	110.02	△ 3.2	—	98.9	27,699
60期末(2019年2月18日)	5,551	75	1.5	11,183	4.2	110.12	0.1	—	98.2	27,534
61期末(2019年3月18日)	5,667	40	2.8	11,599	3.7	111.32	1.1	—	98.7	27,758
62期末(2019年4月17日)	5,762	40	2.4	11,707	0.9	111.22	△ 0.1	—	98.4	26,690
63期末(2019年5月17日)	5,575	40	△ 2.6	11,554	△ 1.3	108.85	△ 2.1	—	98.8	25,311
64期末(2019年6月17日)	5,630	40	1.7	11,769	1.9	108.77	△ 0.1	—	98.9	24,482
65期末(2019年7月17日)	5,649	40	1.0	11,863	0.8	109.61	0.8	—	99.1	23,479
66期末(2019年8月19日)	5,471	40	△ 2.4	11,616	△ 2.1	108.67	△ 0.9	—	98.6	22,222
67期末(2019年9月17日)	5,674	40	4.4	11,946	2.8	109.06	0.4	—	98.7	22,344
68期末(2019年10月17日)	5,671	40	0.7	12,065	1.0	109.45	0.4	—	98.2	21,404
69期末(2019年11月18日)	5,759	40	2.3	12,460	3.3	109.99	0.5	—	99.1	20,790
70期末(2019年12月17日)	5,886	40	2.9	12,903	3.6	111.40	1.3	—	98.8	20,646
71期末(2020年1月17日)	5,991	40	2.5	13,433	4.1	114.33	2.6	—	98.6	20,509
72期末(2020年2月17日)	5,998	40	0.8	13,672	1.8	111.81	△ 2.2	—	98.4	19,979
73期末(2020年3月17日)	4,317	40	△ 27.4	10,162	△ 25.7	112.42	0.5	—	98.0	13,938
74期末(2020年4月17日)	4,829	40	12.8	11,557	13.7	111.42	△ 0.9	—	98.3	15,368
75期末(2020年5月18日)	4,781	40	△ 0.2	11,491	△ 0.6	110.28	△ 1.0	—	98.0	15,078
76期末(2020年6月17日)	5,104	40	7.6	12,442	8.3	112.85	2.3	—	98.0	15,936

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) スイス SMI 指数 (円換算) は、スイス SMI 指数 (スイス・フランベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

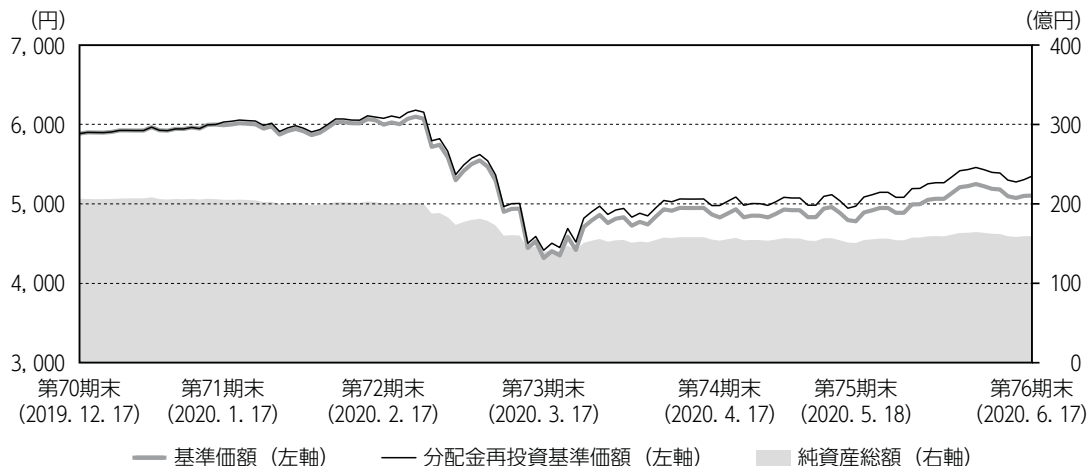
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第71期首：5,886円

第76期末：5,104円（既払分配金240円）

騰落率：△9.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドについては、スイス株式への投資と株価指数および通貨のオプション取引を組み合わせたカ

バードコール戦略を構築した結果、スイス・フランが対円で上昇（円安）したことはプラスに寄与しましたが、株式が下落したことがマイナス要因となり、下落しました。一方、オプション取引については、株価指数は当作成期を通して見ると下落したものの、下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積の方が大きくなったため、株価指数オプションはマイナス要因となりました。通貨のオプションの影響は軽微でした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		スイスSMI指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第71期	(期 首) 2019年12月17日	円 5,886	% —	12,903	% —	円 111.40	% —	% —	% 98.8
	12月末	5,967	1.4	13,252	2.7	112.40	0.9	—	97.6
	(期 末) 2020年1月17日	6,031	2.5	13,433	4.1	114.33	2.6	—	98.6
第72期	(期 首) 2020年1月17日	5,991	—	13,433	—	114.33	—	—	98.6
	1月末	5,914	△ 1.3	13,283	△ 1.1	112.47	△ 1.6	—	98.0
	(期 末) 2020年2月17日	6,038	0.8	13,672	1.8	111.81	△ 2.2	—	98.4
第73期	(期 首) 2020年2月17日	5,998	—	13,672	—	111.81	—	—	98.4
	2月末	5,587	△ 6.9	12,676	△ 7.3	113.04	1.1	—	97.9
	(期 末) 2020年3月17日	4,357	△ 27.4	10,162	△ 25.7	112.42	0.5	—	98.0
第74期	(期 首) 2020年3月17日	4,317	—	10,162	—	112.42	—	—	98.0
	3月末	4,813	11.5	11,412	12.3	113.21	0.7	—	99.0
	(期 末) 2020年4月17日	4,869	12.8	11,557	13.7	111.42	△ 0.9	—	98.3
第75期	(期 首) 2020年4月17日	4,829	—	11,557	—	111.42	—	—	98.3
	4月末	4,929	2.1	11,868	2.7	109.49	△ 1.7	—	98.5
	(期 末) 2020年5月18日	4,821	△ 0.2	11,491	△ 0.6	110.28	△ 1.0	—	98.0
第76期	(期 首) 2020年5月18日	4,781	—	11,491	—	110.28	—	—	98.0
	5月末	5,051	5.6	12,163	5.8	111.52	1.1	—	98.3
	(期 末) 2020年6月17日	5,144	7.6	12,442	8.3	112.85	2.3	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 12. 18 ~ 2020. 6. 17)

■ スイス株式市況

スイス株式市況は下落しました。

当作成期の序盤から2020年2月中旬にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感が後退したことに加え、米中通商交渉の進展などを背景とした投資家のリスク選好姿勢が下支えとなり、スイス株式市況は緩やかな上昇基調をたどりました。2月下旬に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が世界の株式市場に広がり、投資家心理の極端な悪化からスイス株式市況は大幅に下落しました。3月中旬以降は、世界各国の政府・中央銀行による危機対応や、経済活動の再開期待、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などを背景にスイス株式市況は回復基調に転じ、下落幅を縮小しました。

■ スイス株価指数オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期の序盤から2020年2月中旬にかけては、スイス株式市況の底堅い動きなどを背景に、インプライド・ボラティリティは低水準で推移しました。2月下旬に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感などから、リスク回避の動きが急速に生じ、インプライド・ボラティリティは大幅に上昇しました。3月中旬以降は、世界各国の政府・中央銀行による緊急対策のほか、経済活動の再開期待などから、スイス株式市況が反発に転じるに連れて、インプライド・ボラティリティは落ち着きを取り戻しました。6月に入り、欧米諸国などにおける新型コロナウイルス感染の再拡大への警戒感などから、再びインプライド・ボラティリティは高まりました。

■ 為替相場

スイス・フランの対円為替レートは上昇しました。

当作成期の序盤から2020年2月半ばにかけては、スイス・フランは対円でおおむね狭いレンジ内の動きとなりました。2月後半に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感などからリスク回避の円買いが進行した後、各国政府・中央銀行による積極的な緊急支援策などを受けて、スイス・フランは対円で上昇に転じるなど、3月中旬にかけて振れ幅の大きい展開となりました。3月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大によるスイス経済への影響懸念や、米中对立の再燃による円買いの動きなどから、5月上旬にかけてスイス・フランは対円で弱含みました。当作成期末にかけては、スイス中央銀行による企業金融支援策拡充の方針発表が市場で好感されたほか、EU（欧州連合）での復興基金設立をめぐる期待感からユーロが買われた動きなどを受けて、スイス・フランは反発に転じました。

■ スイス・フラン／円為替オプション市況

期間 1 カ月 アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期の序盤から2020年2月半ばにかけては、インプライド・ボラティリティはおおむね低位で推移しました。2月終盤には、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感などからリスク回避姿勢の動きが急速に強まり、インプライド・ボラティリティは3月中旬にかけて大幅に上昇しました。その後、いったんは落ち着きを取り戻しレンジ内での安定した動きとなったものの、6月に入り、欧米諸国などにおける新型コロナウイルス感染再拡大への警戒感などから、再びインプライド・ボラティリティは高まりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国では、トランプ政権の政策運営が引き続き相場の波乱要因になるとみています。米中間で「第1段階の合意」には至ったものの、問題の本質がすでに情報技術や知的財産を含めた覇権争いへ変化している以上、対立は長期化すると思われます。それでも、通商交渉が始まって以来、初めて関税が引き下げられることで企業マインドの改善が期待できるほか、FRB（米国連邦準備制度理事会）の緩和的な金融姿勢も米国経済を下支えと考えています。一方、欧州経済は緩やかな成長にとどまると考えられます。英国では、2019年12月に行われた下院総選挙で離脱派が勝利したものの、企業景況感に及ぼす影響を引き続き注視しています。また、中国の景気減速も、ドイツを筆頭に経済的な結びつきの深い欧州へ着実に波及しています。

スイス経済については、個人消費は底堅さを維持しています。世界各国の政治リスクの低下で企業景況感の一段の改善が期待できることに加えて、潤沢な手元資金を背景に、M&A（企業の合併・買収）の動きは継続すると予想されます。また、相対的な割安度や国債対比で見た配当利回りの高さ、また増配余力や業績面の安定性から、スイス株式の魅力度は依然として高いとみています。米国の大統領選挙を控え、米中通商交渉はいったん「水入り」（休戦）となる可能性が高く、

2019年よりも2020年の相場環境は落ち着くものと予想しています。とはいえ、トランプ大統領の不規則な発言や金融緩和の終焉観測の台頭など、何らかのきっかけで株価が調整する局面も想定されます。しかしながら、銘柄間のバリュエーション格差が依然として大きいことから、そうした調整局面は、長期投資の観点からは魅力度の高い銘柄を組み入れる好機と捉えています。引き続き、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てていく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 12. 18 ～ 2020. 6. 17）

■当ファンド

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

業種構成は、当ファンドの現物株式ポートフォリオのベンチマークであるSPI（スイス・パフォーマンス指数）に対して、金融、素材などをオーバーウエートで推移させた一方で、生活必需品、ヘルスケアなどをアンダーウエートで推移させました。個別銘柄では、GivaudanやBC Vaudoise、EMS Chemieなどをオーバーウエートで推移させた一方で、Credit SuisseやRoche、Nestleなどをアンダーウエートで推移させました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行いました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

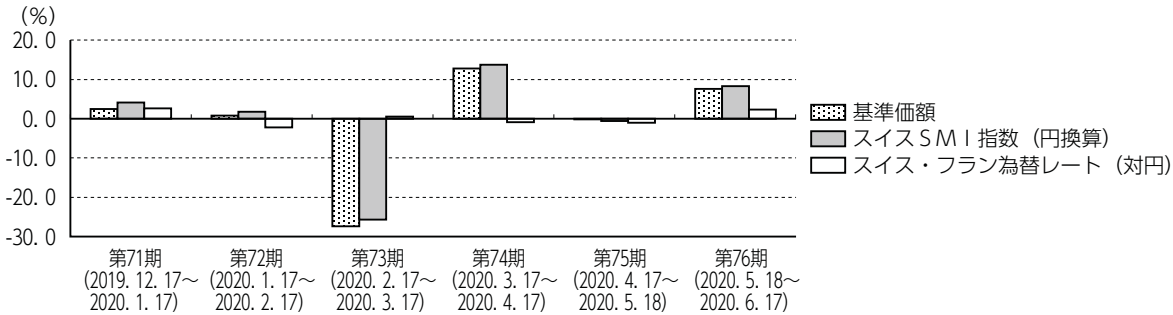
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2019年12月18日 ～2020年1月17日	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.66	0.66	0.92	0.82	0.83	0.78
当期の収益 (円)	40	40	37	38	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	2	1	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	372	376	373	372	406	466

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 48.19円	✓ 43.24円	✓ 37.66円	✓ 38.21円	✓ 74.49円	✓ 100.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	148.39	148.74	149.10	149.54	149.88	150.36
(d) 分配準備積立金	216.25	224.10	✓ 227.02	✓ 224.24	222.12	256.16
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	412.84	416.10	413.79	412.00	446.50	506.56
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	372.84	376.10	373.79	372.00	406.50	466.56

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

世界の大半の国では、新型コロナウイルスの感染拡大による都市封鎖が徐々に緩和されつつあるものの、2020年の世界経済の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いています。新型コロナウイルスがもたらす経済への悪影響に加え、米中貿易摩擦の再燃による下振れリスクが再び表面化しています。各国が相次いで打ち出している緊急支援策が市場の下支えにつながっていますが、貿易摩擦による緊張の高まりが、今後も世界の株式市場におけるボラティリティ上昇要因となる可能性も想定されます。加えて、今秋実施予定の米国大統領選挙をめぐる動向にも注視する必要があると考えます。

欧州においても、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響は引き続き深刻です。こうした経済悪化懸念に対処するべく、欧州各国でもすでにさまざまな対策が打ち出されており、今後ともさらなる財政支援策などが期待されます。

スイス経済は、輸出依存度の高さから比較的世界経済の影響を受けやすく、新型コロナウイルスによる同国経済への悪影響が見込まれます。スイス国内の企業への影響は業種により異なりますが、引き続きバリュエーション、企業業績、配当成長などの動向を注視することが重要であると考えます。スイス株式市場の長期的なファンダメンタルズは依然として良好であるという認識が変わりはないものの、新型コロナウイルス感染の第2波の可能性や、今後数カ月の世界経済の成長への影響度合いについては、現時点では依然として不確実性が高いと考えています。

引き続き、新型コロナウイルスをめぐる報道など、市場の悪材料に反応し、短期的に株価が調整する局面も想定されますが、銘柄間のバリュエーション格差が依然として大きいことから、そうした調整局面は、長期的には魅力度の高い銘柄を組み入れる好機と捉えています。引き続き、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てていく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第71期～第76期 (2019. 12. 18～2020. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0. 673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5, 337円です。
（投 信 会 社）	(12)	(0. 220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0. 440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	36	0. 677	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

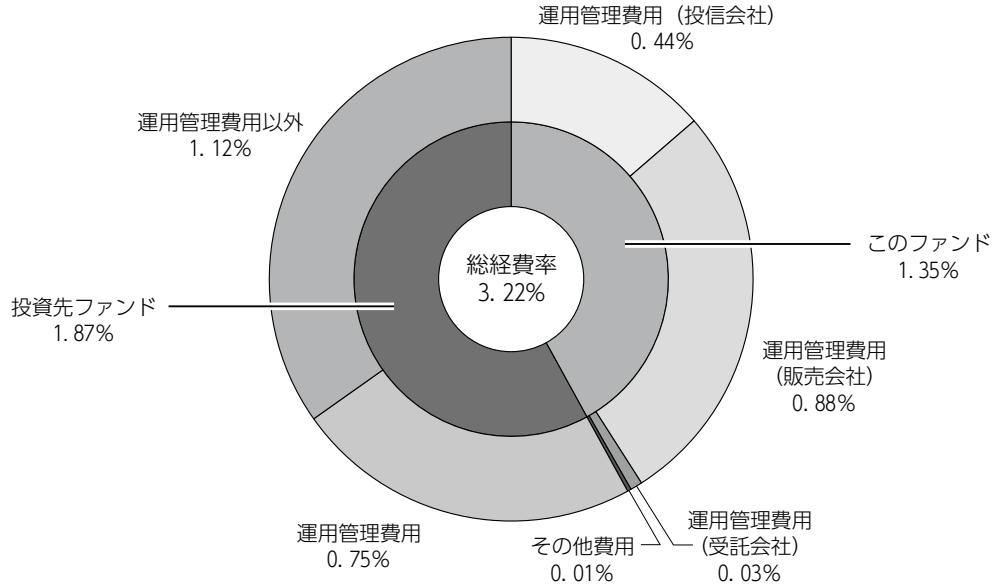
（注 3）各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.22%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.22%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.12%

（注1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年12月18日から2020年6月17日まで)

決 算 期	第 71 期 ～ 第 76 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	23,123.36811	1,182,152	57,386.83334	3,090,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年12月18日から2020年6月17日まで)

第 71 期 ～ 第 76 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND (ケイマン諸島)	57,386.83334	3,090,000	53

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 76 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	315,781.64804	15,623,928	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第70期末	第 76 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,996	2,996	2,993

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月17日現在

項 目	第 76 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	15,623,928	97.1
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,993	0.0
コール・ローン等、その他	467,685	2.9
投資信託財産総額	16,094,606	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年1月17日）、（2020年2月17日）、（2020年3月17日）、（2020年4月17日）、（2020年5月18日）、（2020年6月17日）現在

項 目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
(A) 資産	20,855,452,850円	20,231,864,762円	14,132,044,485円	15,559,716,305円	15,261,175,976円	16,094,606,725円
コール・ローン等	622,851,750	562,105,428	471,730,417	451,654,418	476,901,284	467,685,016
投資信託受益証券（評価額）	20,229,607,691	19,666,765,925	13,657,320,659	15,105,068,478	14,781,281,583	15,623,928,600
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	2,993,409	2,993,409	2,993,409	2,993,409	2,993,109	2,993,109
(B) 負債	345,838,709	252,067,220	193,429,375	190,757,170	183,020,782	157,887,375
未払収益分配金	136,943,878	133,244,028	129,155,000	127,317,663	126,148,230	124,887,909
未払解約金	185,155,889	95,472,155	44,691,831	45,596,108	38,548,007	14,670,845
未払信託報酬	23,594,503	23,065,395	19,179,492	17,334,231	17,706,982	17,603,297
その他未払費用	144,439	285,642	403,052	509,168	617,563	725,324
(C) 純資産総額（A－B）	20,509,614,141	19,979,797,542	13,938,615,110	15,368,959,135	15,078,155,194	15,936,719,350
元本	34,235,969,674	33,311,007,109	32,288,750,164	31,829,415,781	31,537,057,723	31,221,977,334
次期繰越損益金	△ 13,726,355,533	△ 13,331,209,567	△ 18,350,135,054	△ 16,460,456,646	△ 16,458,902,529	△ 15,285,257,984
(D) 受益権総口数	34,235,969,674口	33,311,007,109口	32,288,750,164口	31,829,415,781口	31,537,057,723口	31,221,977,334口
1万口当り基準価額（C／D）	5,991円	5,998円	4,317円	4,829円	4,781円	5,104円

* 第70期における元本額は35,075,505,181円、当作成期間（第71期～第76期）中における追加設定元本額は344,438,952円、同解約元本額は4,197,966,799円です。

* 第76期末の計算口数当りの純資産額は5,104円です。

* 第76期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は15,285,257,984円です。

■損益の状況

第71期 自2019年12月18日 至2020年1月17日 第73期 自2020年2月18日 至2020年3月17日 第75期 自2020年4月18日 至2020年5月18日
第72期 自2020年1月18日 至2020年2月17日 第74期 自2020年3月18日 至2020年4月17日 第76期 自2020年5月19日 至2020年6月17日

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(A) 配当等収益	172,920,053円	165,290,134円	140,910,143円	122,834,868円	252,742,016円	317,208,727円
受取配当金	172,936,564	165,297,446	140,924,202	122,843,682	252,755,057	317,222,820
受取利息	48	58	26	73	130	37
支払利息	△ 16,559	△ 7,370	△ 14,085	△ 8,887	△ 13,171	△ 14,130
(B) 有価証券売買損益	345,195,553	15,435,757	△ 5,419,230,279	1,650,269,003	△ 258,433,507	834,232,508
売買益	346,934,965	20,368,092	52,893,428	1,664,442,455	4,143,854	843,417,734
売買損	△ 1,739,412	△ 4,932,335	△ 5,472,123,707	△ 14,173,452	△ 262,577,361	△ 9,185,226
(C) 信託報酬等	△ 23,738,942	△ 23,206,598	△ 19,296,902	△ 17,440,347	△ 17,816,134	△ 17,713,758
(D) 当期損益金（A+B+C）	494,376,664	157,519,293	△ 5,297,617,038	1,755,663,524	△ 23,507,625	1,133,727,477
(E) 前期繰越損益金	△ 6,803,206,432	△ 6,262,049,805	△ 6,037,410,416	△ 11,279,005,414	△ 9,547,743,306	△ 9,583,560,775
(F) 追加信託差損益金	△ 7,280,581,887	△ 7,093,435,027	△ 6,885,952,600	△ 6,809,797,093	△ 6,761,503,368	△ 6,710,536,777
(配当等相当額)	(508,043,302)	(495,496,567)	(481,436,281)	(475,991,538)	(472,681,680)	(469,458,733)
(売買損益相当額)	(△ 7,788,625,189)	(△ 7,588,931,594)	(△ 7,367,388,881)	(△ 7,285,788,631)	(△ 7,234,185,048)	(△ 7,179,995,510)
(G) 合計（D+E+F）	△ 13,589,411,655	△ 13,197,965,539	△ 18,220,980,054	△ 16,333,138,983	△ 16,332,754,299	△ 15,160,370,075
(H) 収益分配金	△ 136,943,878	△ 133,244,028	△ 129,155,000	△ 127,317,663	△ 126,148,230	△ 124,887,909
次期繰越損益金（G+H）	△ 13,726,355,533	△ 13,331,209,567	△ 18,350,135,054	△ 16,460,456,646	△ 16,458,902,529	△ 15,285,257,984
追加信託差損益金	△ 7,280,581,887	△ 7,093,435,027	△ 6,885,952,600	△ 6,809,797,093	△ 6,761,503,368	△ 6,710,536,777
(配当等相当額)	(508,043,302)	(495,496,567)	(481,436,281)	(475,991,538)	(472,681,680)	(469,458,733)
(売買損益相当額)	(△ 7,788,625,189)	(△ 7,588,931,594)	(△ 7,367,388,881)	(△ 7,285,788,631)	(△ 7,234,185,048)	(△ 7,179,995,510)
分配準備積立金	768,435,612	757,354,166	725,485,232	708,075,133	809,301,616	987,241,700
繰越損益金	△ 7,214,209,258	△ 6,995,128,706	△ 12,189,667,686	△ 10,358,734,686	△ 10,506,700,777	△ 9,561,962,907

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
(a) 経費控除後の配当等収益	164,998,178円	144,065,297円	121,613,107円	121,626,081円	234,925,745円	312,328,435円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	508,043,302	495,496,567	481,436,281	475,991,538	472,681,680	469,458,733
(d) 分配準備積立金	740,381,312	746,532,897	733,027,125	713,766,715	700,524,101	799,801,174
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,413,422,792	1,386,094,761	1,336,076,513	1,311,384,334	1,408,131,526	1,581,588,342
(f) 分配金	136,943,878	133,244,028	129,155,000	127,317,663	126,148,230	124,887,909
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,276,478,914	1,252,850,733	1,206,921,513	1,184,066,671	1,281,983,296	1,456,700,433
(h) 受益権総口数	34,235,969,674□	33,311,007,109□	32,288,750,164□	31,829,415,781□	31,537,057,723□	31,221,977,334□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

**UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・
ツイン・アルファ・ファンド**

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2020年6月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書

2019年11月30日

資産

流動資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥ 20,179,388,843
現金および現金同等物	225,757,779
担保としてブローカーが保有する現金	267,378,170
未収：	
売却済み証券	4,082

資産合計

20,672,528,874

負債

流動負債

金融負債（損益通算後の評価額）	247,086,275
保管会社に対する支払	355,503
未払：	
運用会社報酬	53,710,882
専門家報酬	5,814,926
管理会社報酬	4,127,192
保管会社報酬	2,456,606
名義書換代理人報酬	691,964
受託会社報酬	589,603
登録料	19,039

負債合計（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

314,851,990

償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産

¥ 20,357,676,884

包括利益計算書

2019年11月30日に終了した年度

収益

配当収益	¥ 973, 566, 686
損益通算後の金融資産（デリバティブ以外）における純実現損益	2, 486, 717, 512
デリバティブ金融資産および負債における純実現損益	(1, 289, 115, 815)
外国為替取引による純実現損益	(25, 314, 341)
損益通算後の金融資産（デリバティブ以外）における評価損益の純変動	359, 806, 870
デリバティブ金融資産および負債における評価損益の純変動	49, 964, 016
外国為替取引による評価損益の純変動	(4, 236, 269)

収益合計

2, 551, 388, 659

費用

運用会社報酬	149, 065, 252
管理会社報酬	17, 451, 767
取引費用	12, 150, 502
保管会社報酬	8, 932, 582
支払利息	8, 233, 218
専門家報酬	5, 129, 818
名義書換代理人報酬	2, 878, 941
受託会社報酬	2, 493, 120
登録料	22, 441
その他費用	9, 191

費用合計

206, 366, 832

営業損益

2, 345, 021, 827

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配	(3, 406, 985, 555)
------------------	--------------------

分配後および税引前損失

(1, 061, 963, 728)

源泉徴収税

(280, 643, 552)

運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減額

¥ (1, 342, 607, 280)

投資明細
2019年11月30日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合（％）	評価額
	普通株 (99.1%)		
	アイルランド (0.6%)		
	医薬品 (0.6%)		
14,999	COSMO Pharmaceuticals NV	0.6	¥ 123,928,094
	アイルランド合計		123,928,094
	スイス (98.5%)		
	銀行 (13.0%)		
5,460	Banque Cantonale Vaudoise	2.3	460,103,040
59,956	Cembra Money Bank AG	3.3	683,942,356
925,654	UBS Group AG*	6.0	1,229,383,619
26,449	Valiant Holding AG	1.4	281,426,252
			2,654,855,267
	バイオテクノロジー (0.3%)		
18,427	Idorsia, Ltd.	0.3	54,035,213
	建築材料 (3.0%)		
107,957	LafargeHolcim Ltd.	3.0	609,957,866
	化学 (8.6%)		
5,667	EMS-Chemie Holding AG	1.9	385,328,488
3,537	Givaudan SA	5.6	1,139,123,380
178,679	OC Oerlikon Corp. AG	1.1	217,923,867
			1,742,375,735
	商業サービス (2.3%)		
1,608	SGS SA	2.3	458,489,566
	コンピューター (0.7%)		
66,869	Softwareone Holding AG	0.7	146,258,625
	総合金融サービス (1.5%)		
44,505	Vontobel Holding AG	1.5	313,341,600
	電機 (5.4%)		
458,260	ABB, Ltd.	5.4	1,098,238,979
	エンジニアリング・建設 (0.6%)		
15,051	Burkhalter Holding AG	0.6	118,255,305
	食品 (11.1%)		
1,587	Barry Callebaut AG	1.7	349,549,837
168,548	Nestle SA	9.4	1,919,370,703
			2,268,920,540
	ヘルスケア製品 (2.0%)		
15,883	Sonova Holding AG	2.0	397,351,235
	保険 (16.0%)		
9,476	Swiss Life Holding AG	2.5	514,834,562
92,688	Swiss Re AG	5.4	1,099,988,355

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合（％）	評価額
38,131	Zurich Insurance Group AG	8.1	1,639,202,557
			3,254,025,474
	金属製品（1.4％）		
28,208	SFS Group AG	1.4	286,541,908
	その他製造業（3.1％）		
16,457	Daetwyler Holding AG	1.5	311,623,734
58,661	Stadler Rail AG	1.6	314,464,794
			626,088,528
	医薬品（22.4％）		
47,233	Galenica AG	1.5	311,327,355
194,044	Novartis AG	9.6	1,957,524,963
59,318	Roche Holding AG	9.9	2,003,342,728
14,895	Vifor Pharma AG	1.4	291,023,440
			4,563,218,486
	不動産（0.4％）		
10,100	Investis Holding SA	0.0	84,557,250
	小売（4.5％）		
52,050	Cie Financiere Richemont SA	2.1	434,393,971
15,874	Swatch Group AG	2.4	487,057,827
			921,451,798
	通信（2.2％）		
8,066	Swisscom AG	2.2	457,497,374
	スイス合計		20,055,460,749
	普通株合計（簿価 ¥18,043,387,559）		¥ 20,179,388,843

2019年11月30日時点の売建オプション残高（純資産の－1.2％）

明細	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call - SMI Index Option	¥ 10,310	12/20/2019	8,500	¥ (111,939,380)	¥ (219,366,336)
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	110	12/20/2019	87,500,000	(59,129,139)	(27,719,939)
				¥ (171,068,519)	¥ (247,086,275)

* 利害関係人

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツイン α （毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第76期の決算日（2020年6月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年12月18日～2020年6月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年6月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

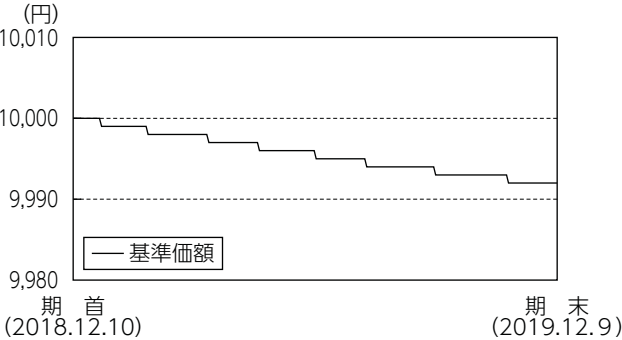
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,000	—	—
12月末	10,000	0.0	—
2019年 1 月末	9,999	△0.0	—
2 月末	9,998	△0.0	—
3 月末	9,997	△0.0	—
4 月末	9,997	△0.0	—
5 月末	9,996	△0.0	—
6 月末	9,995	△0.1	—
7 月末	9,994	△0.1	—
8 月末	9,994	△0.1	—
9 月末	9,993	△0.1	—
10月末	9,993	△0.1	—
11月末	9,992	△0.1	—
(期末)2019年12月 9 日	9,992	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円 期末：9,992円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	40,000	— (40,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
		金 額	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 40,000		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	7,324,100	100.0
投資信託財産総額	7,324,100	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,324,100,953円
コール・ローン等	7,324,100,953
(B) 負債	44,082
その他未払費用	44,082
(C) 純資産総額(A－B)	7,324,056,871
元本	7,329,994,437
次期繰越損益金	△ 5,937,566
(D) 受益権総口数	7,329,994,437口
1万口当り基準価額(C／D)	9,992円

* 期首における元本額は9,018,625,641円、当作成期間中における追加設定元本額は4,065,530,242円、同解約元本額は5,754,161,446円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワ／バリュース・パートナーズ・チャイナ・インベーター・ファンド10,000円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）スーパード・ハイインカムー α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）スーパード・ハイインカムー α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ118,909,472円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver6ー 1,052,878,511円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver7ー 1,327,444,782円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver4ー 858,767,992円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver5ー 3,405,863,412円、ダイワ円債セレクト マネーコース504,712,528円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,937,566円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△4,832,170円
受取利息	2,318
その他収益金	4
支払利息	△4,834,492
(B) その他費用	△1,752,564
(C) 当期損益金(A＋B)	△6,584,734
(D) 前期繰越損益金	119,826
(E) 解約差損益金	2,559,971
(F) 追加信託差損益金	△2,032,629
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	△5,937,566
次期繰越損益金(G)	△5,937,566

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。